



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月2日

上場会社名 株式会社 GSIクレオス
 コード番号 8101 URL <http://www.gsi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 吉永 直明

(氏名) 荒木 靖司

TEL 03-5211-1802

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	68,889	5.4	997	30.1	1,043	31.7	736	51.7
30年3月期第2四半期	65,372	△1.0	766	31.3	792	228.0	485	5.4

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 560百万円 (△17.3%) 30年3月期第2四半期 677百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	114.11	—
30年3月期第2四半期	75.23	—

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
31年3月期第2四半期	62,731		19,250		30.7
30年3月期	62,677		18,916		30.2

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 19,250百万円 30年3月期 18,916百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	35.00	35.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	△2.8	1,500	△4.7	1,500	△0.2	1,000	9.4	155.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	6,464,971 株	30年3月期	6,464,971 株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	13,884 株	30年3月期	13,593 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	6,451,226 株	30年3月期2Q	6,452,430 株

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(追加情報)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. (参考) 海外売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、相次ぐ自然災害の影響が懸念されたものの、引き続き企業収益や雇用・所得環境の改善が進むとともに、個人消費も底堅く推移するなど、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、米中貿易摩擦の深刻化への懸念が払拭されず、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、前年同期比3,516百万円、5.4%増収の68,889百万円、売上総利益は、前年同期比169百万円、2.6%増益の6,647百万円、営業利益は、前年同期比230百万円、30.1%増益の997百万円、経常利益は、前年同期比251百万円、31.7%増益の1,043百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比250百万円、51.7%増益の736百万円となりました。

当社は、本年8月3日に3ヵ年の中期経営計画（2019年3月期～2021年3月期）を公表し、2020年ビジョン「ニッチな分野でグローバルに独自の機能を提供する事業創造型商社として社会に貢献する」を実現すべく、海外売上高の拡大、収益性の向上、人材の充実と働き方改革への対応および内部統制システムの充実とリスク管理の徹底を重点施策として、収益基盤と財務体質の強化に取り組んでおります。

②セグメント別の状況

<繊維関連事業>

- ・機能性の高い原糸および生地の海外販売は大きく増加しました。一方、企画提案型の婦人ファンデーション取引は減少しました。
- ・米国向けのアパレル用生地の取引と婦人ニット製品の輸入販売が増加し、アウター製品のOEM取引は堅調に推移しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比2,616百万円、5.1%増収の53,985百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比158百万円、34.8%増益の616百万円となりました。

<工業製品関連事業>

- ・欧米やアジア向けの塗料原料と中国製半導体基板が好調に推移し、国内のフィルムおよび化粧品原料、米国向けの化学品の取引も伸長しました。
- ・ホビー関連取引は、プラモデル用塗料が増加しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比900百万円、6.4%増収の14,903百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比53百万円、9.8%増益の598百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権の増加などにより、前期末比54百万円増加の62,731百万円となりました。

負債は、借入金の減少などにより、前期末比279百万円減少の43,481百万円となりました。

純資産は、四半期純利益による株主資本の増加などにより、前期末比333百万円増加の19,250百万円となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当該会計基準等を遡及適用した数値で前連結会計年度との比較を行っております。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは1,479百万円の増加（前年同期比1,741百万円の収入の減少）となりました。主な要因は仕入債務の増加によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは119百万円の減少（前年同期比436百万円の支出の減少）となりました。主な要因は投資有価証券の取得による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは2,029百万円の減少（前年同期比1,966百万円の支出の増加）となりました。主な要因は借入金の返済によるものです。

これらに、換算差額△50百万円を加味した結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前期末比720百万円減少の11,915百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月15日に公表しました平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,636	11,915
受取手形及び売掛金	30,154	31,297
商品	8,138	8,109
未着商品	258	50
その他	1,182	1,192
貸倒引当金	△283	△298
流動資産合計	52,087	52,267
固定資産		
有形固定資産	4,407	4,387
無形固定資産	620	558
投資その他の資産	5,562	5,518
固定資産合計	10,589	10,464
資産合計	62,677	62,731
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,773	25,350
短期借入金	15,250	13,572
1年内返済予定の長期借入金	227	249
未払法人税等	276	216
引当金	466	405
その他	2,901	2,931
流動負債合計	42,895	42,725
固定負債		
長期借入金	355	269
退職給付に係る負債	143	141
その他	366	344
固定負債合計	865	755
負債合計	43,760	43,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	855	855
利益剰余金	10,071	10,581
自己株式	△22	△23
株主資本合計	18,090	18,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	606	522
繰延ヘッジ損益	△36	8
為替換算調整勘定	190	49
退職給付に係る調整累計額	65	69
その他の包括利益累計額合計	826	650
純資産合計	18,916	19,250
負債純資産合計	62,677	62,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	65,372	68,889
売上原価	58,895	62,242
売上総利益	6,477	6,647
販売費及び一般管理費	5,710	5,650
営業利益	766	997
営業外収益		
受取利息	19	10
受取配当金	47	39
為替差益	34	56
その他	49	49
営業外収益合計	150	156
営業外費用		
支払利息	97	87
その他	27	22
営業外費用合計	124	109
経常利益	792	1,043
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	2	-
その他	0	-
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除却損	11	2
投資有価証券評価損	16	-
ゴルフ会員権売却損	-	4
特別損失合計	27	6
税金等調整前四半期純利益	767	1,037
法人税、住民税及び事業税	216	282
法人税等調整額	66	19
法人税等合計	282	301
四半期純利益	485	736
親会社株主に帰属する四半期純利益	485	736

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	485	736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	280	△83
繰延ヘッジ損益	37	44
為替換算調整勘定	△137	△140
退職給付に係る調整額	10	3
その他の包括利益合計	191	△176
四半期包括利益	677	560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	677	560

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	767	1,037
減価償却費	135	138
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△240	4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11	△0
受取利息及び受取配当金	△66	△50
支払利息	97	87
為替差損益 (△は益)	-	0
有形固定資産除却損	11	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2	-
投資有価証券評価損	16	-
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	-	4
売上債権の増減額 (△は増加)	6,064	△1,562
たな卸資産の増減額 (△は増加)	306	181
その他の資産の増減額 (△は増加)	△113	△25
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,600	1,958
その他の負債の増減額 (△は減少)	289	60
その他	17	22
小計	3,694	1,858
利息及び配当金の受取額	65	50
利息の支払額	△90	△88
法人税等の支払額	△447	△341
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,221	1,479
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△570	△56
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	-	△1
投資有価証券の取得による支出	△3	△93
投資有価証券の売却による収入	11	7
出資金の払込による支出	△28	△11
出資金の売却による収入	66	27
貸付けによる支出	△9	-
貸付金の回収による収入	16	15
その他	△39	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△555	△119
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	198	△1,660
長期借入れによる収入	100	50
長期借入金の返済による支出	△80	△113
リース債務の返済による支出	△87	△79
配当金の支払額	△193	△225
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△63	△2,029
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△50
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,592	△720
現金及び現金同等物の期首残高	12,371	12,636
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△21	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,942	11,915

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	51,369	14,003	65,372	—	65,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	51,369	14,003	65,372	△0	65,372
セグメント利益	457	544	1,002	△235	766

(注) 1 セグメント利益の調整額△235百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△247百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,985	14,903	68,889	—	68,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	53,985	14,903	68,889	—	68,889
セグメント利益	616	598	1,214	△217	997

(注) 1 セグメント利益の調整額△217百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△227百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. (参考) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日) (単位:百万円)

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高	31,783	4,420	1,936	38,140
II 連結売上高				65,372
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	48.6	6.8	3.0	58.3

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日) (単位:百万円)

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高	34,143	4,926	1,963	41,033
II 連結売上高				68,889
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	49.6	7.2	2.9	59.6

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。

アジア・・・・・・中国、香港

北米・・・・・・アメリカ

その他・・・・・・欧州

(3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2019年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト

2018年11月2日
株式会社GSIクレオス
(単位:百万円)

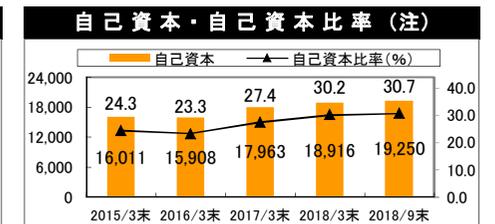
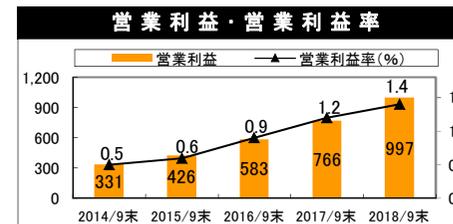
経営成績	2019/3期 第2四半期	2018/3期 第2四半期	前年 同期比	主な増減要因
売上高	68,889	65,372	3,516	【売上高】
売上総利益	6,647	6,477	169	繊維事業、工業製品事業ともに増収。
販売費 一般管理費	1,789 3,860	1,844 3,866	△ 55 △ 5	【売上総利益】
営業利益	997	766	230	売上高の増加に伴い増益。
利息収支 受取配当金 為替差損益 持分法による投資損益 その他	△ 76 39 56 6 20	△ 77 47 34 10 10	1 △ 7 21 △ 4 10	【営業利益】 物産費などの販売費の減少により増益。
経常利益	1,043	792	251	【経常利益】 為替差益の増加により増益。
特別利益 特別損失	0 6	2 27	△ 2 △ 21	【親会社株主に帰属する四半期純利益】
税金等調整前四半期純利益	1,037	767	269	・前期は、特別損失に投資有価証券評価損等を計上。
法人税等	301	282	19	・通期見通しに対する進捗率は73.6%。
親会社株主に帰属する四半期純利益	736	485	250	

財政状態(注)	2018/9末	2018/3末	前期末比	主な増減要因
総資産	62,731	62,677	54	【総資産】
負債 (ネット有利子負債)	43,481 2,176	43,760 3,197	△ 279 △ 1,021	売上債権の増加等により増加。
純資産	19,250	18,916	333	借入金の減少等により減少。
自己資本	19,250	18,916	333	【純資産】
自己資本比率	30.7%	30.2%	0.5pt	四半期純利益による株主資本の増加等により増加。

キャッシュ・フローの状況	2019/3期 第2四半期	2018/3期 第2四半期	当期の主な増減要因
営業活動によるCF	1,479	3,221	【営業活動によるCF】
投資活動によるCF (フリー・キャッシュ・フロー)	△ 119 1,360	△ 555 2,665	仕入債務の増加等により増加。
財務活動によるCF	△ 2,029	△ 63	【投資活動によるCF】 投資有価証券の取得による支出等により減少。
換算差額	△ 50	△ 9	【財務活動によるCF】
現金・現金同等物の増減	△ 720	2,592	借入金の返済等により減少。

セグメント情報	売上高			セグメント利益(営業利益)		
	2019/3期 第2四半期	2018/3期 第2四半期	前年 同期比	2019/3期 第2四半期	2018/3期 第2四半期	前年 同期比
繊維事業	53,985	51,369	2,616	616	457	158
工業製品事業	14,903	14,003	900	598	544	53
調整額	-	-	-	△ 217	△ 235	18
合計	68,889	65,372	3,516	997	766	230
【繊維事業】 増収増益			【工業製品事業】 増収増益			
主な増減要因	[大幅増収]	インナー用機能系・生地	主な増減要因	[増収]	フィルム、化粧品原料	
	[増収]	アウター用生地(米国向け)		[増収]	化学品(米国向け)	
		婦人ニット製品			プラモデル用塗料	
	[堅調]	アウターOEM製品		[好調]	塗料原料、半導体基板	
	[減収]	婦人ファンデーション(企画提案型)				

地域別売上高	2019/3期 第2四半期		2018/3期 第2四半期		前年同期比	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比
アジア	34,143	49.6	31,783	48.6	2,359	1.0pt
北米	4,926	7.2	4,420	6.8	506	0.4pt
その他海外	1,963	2.9	1,936	3.0	26	△ 0.1pt
海外売上高	41,033	59.6	38,140	58.3	2,892	1.3pt
日本	27,855	40.4	27,231	41.7	623	△ 1.3pt
合計	68,889	100.0	65,372	100.0	3,516	-



通期の見通し	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり配当金(円)
2019/3期(予想)	130,000	1,500	1,500	1,000	40(円)
2018/3期(実績)	133,727	1,573	1,502	913	35(円)
前期比	△ 3,727	△ 73	△ 2	86	5(円)

(注) 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。